

2023年度 第7回 CPC研究会

日 時 : 12月22日(金)
会 場 : 連合会館 201 会議室
(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11)
参加費 : 維持会員・大学官公庁関係=無料 / 非会員=30,000 円
<http://cpc-society.org/>

13:30~14:55

「座礁資源から炭素材料を創る」

九州大学 先導物質化学研究所 中林 康治 氏

- 1) 自己紹介
- 2) 座礁資源とは
- 3) 座礁資源を利用した炭素材料への応用

近年では、石油や石炭などは「座礁資源」になりうるといわれています。つまり、地球温暖化の対応により CO₂ 削減が急務となった現在では石油や石炭などは燃料として活用できずに資産価値が大きく下がる資産(座礁資源)になると考えられています。このような背景のもと、当研究室では、座礁資源を原料とし、低価格原料を用いながら且つ、高付加価値な炭素構造体である炭素繊維の製造に挑戦しています。

15:05~16:30

「グラフェンを用いた透明アンテナ」

青山学院大学 黄 晋二 氏

- 1) IoT・5G 技術において注目されている透明アンテナ
- 2) 透明アンテナ材料としてのグラフェンの特徴
- 3) CVD グラフェンを用いた透明アンテナの動作実証例
- 4) 今後の展開

2010 年のノーベル物理学賞の対象になって以来、グラフェンは新規 2 次元材料として大きな注目を浴びていますが、実用化に至ったグラフェンデバイスはほとんどありません。我々は 2017 年に、世界初のグラフェン透明アンテナの動作実証に成功した後、グラフェンの低抵抗化に取り組み、その実用化の可能性を見出すに至っています。講演では、透明アンテナ材料としてのグラフェンの特徴とこれまでの取組み、及び実用化に向けた今後の展開について紹介いたします。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 03-5821-7439
12月22日の第7回研究会に参加します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係
ご所属:
Tel: Fax: E-mail: